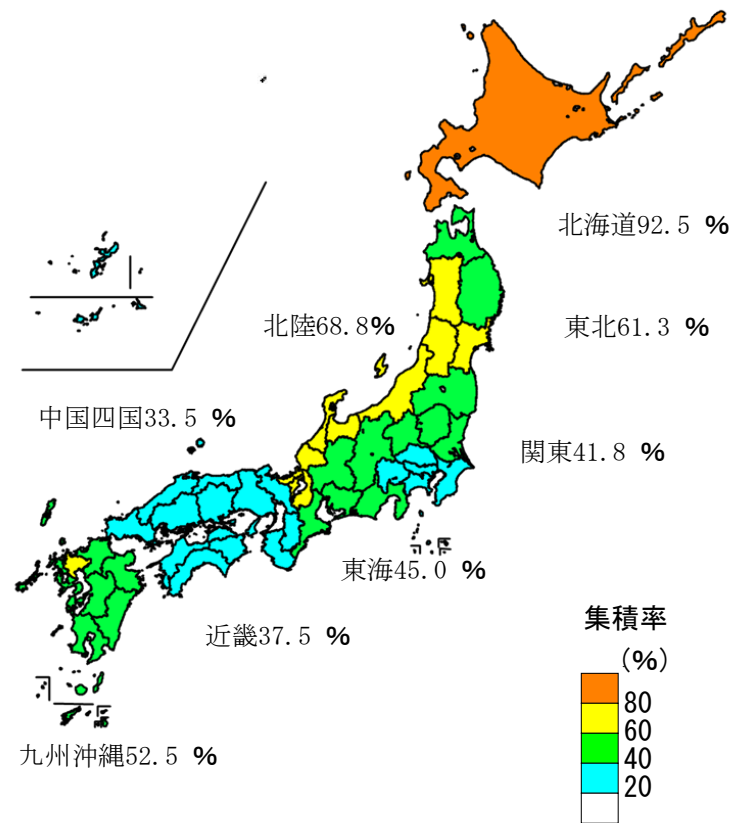


ブロック別の担い手への農地集積の傾向分析

【ブロック別】

全国 61.5%



	集積率	傾向
全国	61.5%	・ <u>基盤整備率が高い地域や集落営農による取組が盛んな地域</u>は集積も進んでいる。 ・ <u>中山間地域の割合が高い地域（近畿・中国四国）や都市的地域の割合が高い地域（関東・東海）</u>は集積が進みにくい傾向。
北海道	92.5%	・ <u>基盤整備率が田で98.2%、畑で96.0%と高く</u>、集積も進んでいる。 ・ 農業経営体の約9割が担い手。1経営体当たりの平均経営面積は30ha超。
東北	61.3%	・ 中山間地域の割合が52.4%と高いものの、<u>基盤整備率が70.3%と高く</u>、また、<u>集落営農による取組も盛んで集積が進んでいる</u>（集積面積に占める集落営農の割合が宮城県は全国2位（17.3%）、岩手県は全国6位（9.9%））。
関東	41.8%	・ <u>都市的地域の割合が46.8%と高く</u>、集積が進みにくい傾向。
北陸	68.8%	・ ブロック内全県で水田率が8～9割を超え、<u>基盤整備率も73.6%と高く</u>、集積も進んでいる。特に福井県、富山県は基盤整備率が約9割と高く、また、福井県は集落営農の取組も盛んで集積が進んでいる（集積面積に占める集落営農の割合が福井県は全国4位（14.7%））。
東海	45.0%	・ <u>都市的地域の割合が57.9%と高く（全ブロックで1位）</u>、集積が進みにくい傾向。
近畿	37.5%	・ <u>中山間地域の割合が52.3%と高く</u>、<u>基盤整備率も61.4%と全国平均より低く</u>、集積が進みにくい傾向。
中国四国	33.5%	・ <u>中山間地域の割合が62.3%と高く（全ブロックで1位）</u>、<u>基盤整備率も46.5%と全国平均より低く（全ブロックで最下位）</u>、集積が進みにくい傾向。
九州沖縄	52.5%	・ 集落営農による取組が盛んな県では、集積が進んでいる。（集積面積に占める集落営農の割合が佐賀県は全国1位（27.7%）、福岡県は全国5位（10.6%）） ・ <u>沖縄は相続未登記農地の割合が47.3%（全国：23.7%、都府県：29.3%）と高く</u>、集積が進みにくい傾向。

【参考：集積率】九州…54.1%、沖縄…29.5%

※ 集積率は、令和7年3月末時点の数字

※ 本資料は公表資料等を基に農地政策課作成

※ 基盤整備率（田面積に占める30アール以上の基盤整備済面積の割合）：全国68.7%、都府県65.6%
集積面積に占める集落営農の割合：全国3.3%、都府県5.4%
中山間地域割合：全国44.0%、都府県43.4%
都市的地域割合：全国27.5%、都府県34.9%
水田率：全国54.3%、都府県67.0%